

日本スポーツマスターズ 2017

競 泳 競 技

主 旨

21世紀のスポーツ振興を図るにあたっては、幼児から高齢者までが生涯を通じて自己の能力、志向等に応じて、豊かにスポーツを楽しむことができる環境を醸成していくことが重要である。

本大会はスポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代のシンボリックなスポーツ祭典として、参加者がお互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、併せて、生きがいのある社会の形成と、健全な心身の維持・向上に寄与しようとするものである。

主 催 (公財)日本体育協会・(公財)日本水泳連盟・兵庫県・(公財)兵庫県体育協会
・尼崎市

主 管 兵庫県水泳連盟

公 認 (公財)日本水泳連盟・(一社)日本マスターズ水泳協会

期 日 平成 29 年 9 月 9 日(土)・10 日(日)

会 場 尼崎スポーツの森 はばタンアリーナ 5 0 (尼崎市扇町 4 3)

競技方法

(1) 全て、男女別、年齢区分別のタイムレース決勝とする。

(2) (公財)日本水泳連盟競泳競技規則による。

種目・年齢区分・競技順序・参加人員・リレー種目

(1) 競技種目

自由形：50m・100m 背泳ぎ：50m・100m 平泳ぎ：50m・100m バタフライ：50m・100m
個人メドレ-：200m フリ-リレ-：200m メドレ-リレ-：200m 混合フリ-リレ-：200m
混合メドレ-リレ-：200m

男子、女子及び年齢別共に同一種目とする。

(2) 年齢区分(男女共通)

個人種目(個人の暦年齢)

1 部(30 歳 ~ 34 歳)

2 部(35 歳 ~ 39 歳)

3 部(40 歳 ~ 44 歳)

4 部(45 歳 ~ 49 歳)

5 部(50 歳 ~ 54 歳)

6 部(55 歳 ~ 59 歳)

7 部(60 歳 ~ 64 歳)

8 部(65 歳 ~ 69 歳)

9 部(70 歳 ~ 74 歳)

リレー種目(泳者 4 名の暦年齢の合計)

120 歳の部(120 歳 ~ 159 歳)

160 歳の部(160 歳 ~ 199 歳)

200 歳の部(200 歳 ~ 239 歳)

240 歳の部(240 歳 ~ 279 歳)

280 歳の部(280 歳 ~ 296 歳)

リレー-も 74 歳までとする

(3) 競技順序 (女・男 9・8・7・6・5・4・3・2・1 部の順)

第 1 日目 (タイム決勝)

第 2 日目 (タイム決勝)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 混 合 200mフリー-リレ- 4×50m | 1 混 合 200mメドレ-リレ- 4×50m |
| 2 女・男 200m個人メドレ- | 2 女・男 50m背泳ぎ |
| 3 女・男 100m自由形 | 3 女・男 50mバタフライ |
| 4 女・男 100m平泳ぎ | 4 女・男 50m平泳ぎ |
| 5 女・男 100mバタフライ | 5 女・男 50m自由形 |
| 6 女・男 100m背泳ぎ | 6 女・男 200mメドレ-リレ- 4×50m |
| 7 女・男 200mフリー-リレ- 4×50m | |

(4) 参加人員

各都道府県からの代表選手数は当面制限しない。なお、個人の参加種目は1人3種目までとする(リレーは除く)。但し、監督(選手を兼務することができる)は1名とする。

(5) 個人種目及びリレ-種目

リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレ-種目への参加は74歳までとする。

リレー種目出場者は、同一リレ-種目に二つ以上の年齢区分から出場できない。

リレー種目は都道府県1チームのみとする。なお、これ以外はオープン参加とする。

申込規定

(1) 参加資格、年齢基準及び所属都道府県

選手は、(公財)日本水泳連盟(平成29年度)又は、(一社)日本マスターズ水泳協会登録完了者(平成29年)で、下記に該当すること。

年齢基準は平成29年12月31日現在とする。

所属する都道府県に在住又は在勤の者。

第72回国民体育大会水泳競技会(都道府県予選会及びブロック大会を除く)に選手として参加する者は、本大会に選手として参加することはできない。

監督については、公認水泳コーチ・公認水泳上級コーチ、公認水泳教師・公認水泳上級教師、公認水泳指導員・公認水泳上級指導員の資格を有する者とする。(指導者資格は、(公財)日本体育協会公認資格とする)

(2) 参加料 一人5,000円(監督専任者を除く)

度納入された参加料は返金しない。また、地震・風水害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。

(3) 申込方法

参加希望者は、所定の参加申込書用紙に必要事項を記入し、都道府県水泳連盟(協会)に申込む。

都道府県水泳連盟(協会)は、参加資格、参加人員の規定に合わせ、選手を選出の上、(公財)日本体育協会の「参加登録用紙」と(公財)日本水泳連盟Webエントリーから出力される「競技会申込書明細表」と「競技会申込(エントリーTIME)データ一覧表」を3部作成し、平成29年7月14日(金)必着にて、1部を所属都道府県体育協会に、2部を(公財)日本水泳連盟に提出する。なお、参加料は都道府県水泳連盟(協会)が取りまとめて、(公財)日本水泳連盟指定口座へ振り込み、振込受領証コピーを(公財)日本水泳連盟に提出する。

(公財)日本水泳連盟は、2部の参加申込書のうち1部を、平成29年7月21日(金)までに、(公財)日本体育協会へ送付する。

参加申込後に選手を交代する場合には、所定の様式により上記、の参加申込を同様の要領にて届けなければならない。

(4) その他

(一社)日本マスターズ水泳協会の定めるマスターズ記録の公認は、大会申込時に平成29年の(一社)日本マスターズ水泳協会の個人登録完了者に限る。ただし、記録の公認は個人種目のみとする。

水着等の制限

- (1) 競泳水着はF I N Aの公認した水着を着用すること。水着は1枚のみとし、水着の重ね着は禁止する。また、テーピングや2次加工は禁止する。
- (2) 選手や役員が宣伝・広告の媒体とならないようにアリーナ内で着用・持ち込みする物を制限(水着・バッグ・シャツ等のマーク)している。

水着規定の詳細は、(公財)日本水泳連盟のホームページ「競技会において着用又は携行することができる水泳用具、用具の商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」の内容をよく読むこと。

参加上の注意

- (1) 参加者は、自ら健康診断を受診する等の健康状態の把握に努めること。また、競技実施前、実施中に体調の変化を感じた場合には、自ら競技の棄権を申し出ること。
- (2) 事故発生の場合、主催者は応急処置を行い、必要に応じて医療機関に移送する。
- (3) 大会参加者の大会期間中の偶然かつ急激なケガを補償するため、日本体育協会にて傷害保険に加入する。なお、参加者各人においても、別途傷害保険に加入することが望ましい。
- (4) 参加者は、保険証を持参すること。
- (5) 緊急時対応のため、各チームの代表者は全参加者の緊急時連絡先(本人以外)を把握しておくこと。
- (6) 薬を常時服用している場合、服用している薬が分かるもの(お薬手帳等)を必ず携行すること。

表彰・得点

- (1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者に記念品を授与する。また第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは、上位2名までとする。
- (2) 合計得点により男女総合成績上位の都道府県を表彰する。
個人種目、リレー種目ともに1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とする。
合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。
合計得点が同得点の場合は、次のとおりとする。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方(リレー種目は4と計算する)
 - ・1位の数の多い方
 - ・以下8位までこれにならう
- (3) 本大会へ10年連続出場者に記念品及び賞状を贈る。
対象者は、(公財)日本水泳連盟「日本スポーツマスターズ2017兵庫・10年連続出場者申請書(平成29年度)」様式に記入する。
本大会監督者は、申請者の資格等確認の上、平成29年7月14日(金)までに(公財)日本水泳連盟生涯スポーツ「日本スポーツマスターズ2017兵庫・水泳競技会(10年連続

出場)」係に届けること。なお、当日レースを棄権した場合は連続出場表彰を取り消とする。

会 議

(1) 資格審査・プログラム編成

日 時 / 平成 29 年 8 月 1 日(火) 午後 1 時～

会 場 / 公益財団法人日本体育協会 101 会議室

〒150-8050 渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 1 階 TEL 03-3481-2215

(2) 監督会議

日 時 / 平成 29 年 9 月 8 日(金) 午後 3 時～

会 場 / 尼崎スポーツの森 ばばタンアリーナプール 会議室

〒660-0096 尼崎市扇町 43 TEL 06-6412-1655

大会情報

競技日程、組合せ等の確認は、(公財)日本水泳連盟のホームページに掲載する。